

2026年5月1日

[配信枚数 3枚]

発信元 滋賀大学総務課企画・広報室

報道関係者 各位

田植えを通して食と農をめぐる環境について考える イベントで終わらせない稲作体験学習を実施

滋賀大学では、5月9日(土)・10日(日)の2日間、教員を目指す学生を対象に、農業体験学習の一環として田植え体験を実施します。

日時		内容	場所
5月9日(土)	8時30分～ 14時30分	田植え体験 1グループ1時間半の予定で、 2日間で8グループが体験	大津市 大石淀1丁目2 (別添参照)
5月10日(日)			

※小雨決行。大雨の場合は5月16日(土)・17日(日)に延期

※延期の判断は当日早朝に行います

[背景]

小学校などで行われる米作り体験学習は、生産者の田んぼを借りて実施されることも多く、学校からの移動時間などの制約により、米作りの途中工程を十分に学ばないまま、田植えや稲刈りがイベント的に実施されていることがあります。

教員には、稲の成長の様子や生産者の仕事や思いなどを子どもたちに伝え、体験学習を単なるイベントで終わらせない工夫が求められています。本事業では、教員を目指す学生が田植えや稲刈りなどの体験を基に、環境教育の視点から食と農についてグループで課題を設定する、探究的な学習に取り組みます。

[概要]

この取り組みは、教育学部教養科目「環境教育概論」の一環として実施するものです。学生たちは、自然環境に配慮して栽培されている「みずかがみ」の田植えに続き、稲刈りや、収穫したお米を使っての炊飯、大学オリジナル日本酒「滋賀大学 琵琶くみ(はぐくみ)」の仕込みなどを行い、その体験をベースにした探究的な学習を行います。

また、一般の方にも食・農・環境を考えていただく機会として、小中学生とその保護者を対象とした田植え体験も同時に実施します。

実施日：5月10日(日)

時間：10時～11時30分、13時～14時30分

詳細：<https://www.edu.shiga-u.ac.jp/news/36640/>

本プロジェクトは、地域の生産者である植村喜代司(うえむら・きよし)様、北島酒造株式会社(湖南市/蔵元:北島輝人(きたじま・てるひと))様の多大なご協力、ご指導のもと実施しています。

●取材に関するお願い

取材いただける場合は、5月8日(金)17時までに、下記問い合わせ先へご連絡ください。



過去の田植え体験の様子

●本件に関するお問い合わせ先

滋賀大学教育学部 森 太郎

TEL:077-537-7735 E-mail:tmori@edu.shiga-u.ac.jp



地図データ ©2022 100 m

歩	県道783号 経由	7分 600m
歩	県道783号 経由	7分 600m
全ルートがほぼ平坦		▼

ライブ交通情報

高速 ■ ■ ■ 低速